

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	0035		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学分野		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	Textbook: New Headway Pre-intermediate(4th edition) : Liz & John Soars (Oxford University Press)References: Practical English Usage: Michael Swan (Oxford University Press)English Vocabulary in Use:McCarthy+ O'Dell (Cambridge University Press)					
担当教員	片岡 務,スティーブ グッド,エリック ローズ					
到達目標						
To consolidate and build on English language learned to date, giving students the ability and confidence to communicate in English in real-life situations.						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1		To be able to establish natural communication in English.	To be able to establish communication in English if given some hints or suggestion.	To be unable to maintain communication in English if given some hints of suggestion.		
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 F JABEE f						
教育方法等						
概要						
授業の進め方・方法		To promote an awareness, understanding and tolerance of foreign cultures. To have the students realize the importance of communication skills and strategies in language learning.				
注意点		・ Active participation in class. Notebook, pen and textbook. Try to use English as much as possible in class. ・ Passing criteria is 60% of the oral test (interview).(A detailed description and distribution of scores will be given before each test.) And final grade is decided by the oral test 70% and the classroom participation and communication skills component 30%. On retesting, the passing criteria is 60%. ・ Take this chance to speak and experiment with English in a friendly and relaxed atmosphere.				
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Simple Present Tense Present		Describing regular activities. Asking simple questions. Talking about things you like to do.	
		2週				
		3週	Simple Past Tense Past		Reporting past activities. Describing a trip or telling a story.	
		4週				
		5週				
		6週	Much and many / some and any		Talking about food. Making offers and requests.	
		7週				
		8週	前期中間試験を実施する			
	2ndQ	9週	Future. Going to, will hope to Want to ... /		Describing future plans and intentions. Doubt and certainty. Phrasal verbs.	
		10週				
		11週	Comparatives / superlatives		Comparing Things. Giving your opinion. Talking about your hometown. Making suggestions.	
		12週				
		13週				
		14週	Present Perfect Tense. For and since. Ever and never.		Questions tags with "isn't it ?", "don't you?" etc..	
		15週				
		16週	前期期末試験を実施する			
後期	3rdQ	1週	Have to ... / should ... / must		Medical symptoms. What things are made of. Clothes and accessories.	
		2週				
		3週	Past Perfect Tense Joining sentences		Talking about feelings, and exclamations.	
		4週				
		5週				
		6週	Passives		Saying numbers and amounts.	
		7週				
		8週	後期中間試験を実施する			
	4thQ	9週	How long.....? Since and for		Discussing durations	
		10週				

		11週	Present Perfect Continuous.	Review of all tenses. news and bad news.	Responding to good
		12週			
		13週			
		14週	Using conditionals with "if ..".	What will you do?	What would you do?
		15週			
		16週	後期期末試験を実施する		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	70%	0	0	30%	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0